

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務		
委託期間	令和4年6月28日 ~ 令和5年3月24日	担当課	企画調整課
選定した受託候補者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 (提案書番号5)	契約締結日	令和4年6月28日

2 選考結果

ヒアリング日	令和4年5月31日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・牧田 和久(公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部 名誉教授) ・市岡 綾子(学校法人日本大学 工学部建築学科 専任講師) ・渡部 啓二(会津若松商工会議所 専務理事) ・押部 隆弘(会津若松市 財務部 副部長) ・長谷川 健一(会津若松市 健康福祉部 副部長)
審査方法・受託候補者選定の要因	<p>1 審査方法 選考委員5名全員が出席し、提案書について、提案者7名からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、審査基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。</p> <p>2 受託候補者選定の要因 選考委員5名中、3名の委員が最高の評価点を付与した参加者を受託候補者として選定した。</p>
選評	<p>受託候補者:パシフィックコンサルタンツ株式会社(提案書番号5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援への認識が高く、子どもの遊び場、子育て支援という最も重要なキーワードに視点を当てている点が優れている。 ・これまでの実績において、最も今回の業務に似た業務を手掛けている。 ・広域的知見を踏まえて、会津若松市が栄えれば会津地域全体が栄えるという構造としてのこの場所の意味を理解した提案である。 ・調査のプロセスや民間企業の意向を確認した際に生じる官民ギャップを埋めていくという視点など、事業化への意識がしっかりしている。 <p>次点者:提案書番号2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な利活用のイメージや検討のスキームがわかりやすい。 ・冬季にも利用できる大空間の屋内広場により、広域的な集客と交流人口の増加に着目している点が良い。

3 審査結果

【選考委員の合計】

参加者名 (受付順)	評価点					最高点 採点者数 (合計点)
	1:実施方 針	2:業務遂 行能力	3:企画提 案内(事業 手法)	4:企画提 案内(市場 調査)	5:企画提 案内(収益 施設)	
提案書番号1	36	102	72	76	64	2名/5名 (350)
提案書番号2	34	108	72	76	76	1名/5名 (366)
提案書番号3	34	90	68	68	68	0名/5名 (328)
提案書番号4	34	96	60	68	60	0名/5名 (318)
提案書番号5	40	120	76	76	72	3名/5名 (384)
提案書番号6	34	108	64	72	64	0名/5名 (342)
提案書番号7	32	102	60	60	68	0名/5名 (322)

※選考委員5名に対し、最高点採点者数が6名となったのは、選考委員1名が2名の提案者に対し最高の評価点を付与したものです。